

課題		取組みの方向性	No.	取組み	課題・今後取り組みたいこと
健康格差の縮小	むし歯予防	○妊娠中から妊婦のむし歯のリスクや出産後の子どものむし歯予防について普及啓発をします。	1	○ <b>幼保支援課</b> ・学校保健安全法に基づく私立幼稚園での歯科健診	○ <b>幼保支援課</b> ・歯科検診を契機に、園児及び保護者に虫歯予防などの啓発を図る。
		○望ましい間食の取り方等、むし歯予防につながる生活習慣を普及します。	2	○ <b>幼保指導課</b> ・保育所での刷掃指導 ・知識の普及啓発 ・公立認定こども園でのフッ化物洗口 ・3歳未満児に対するぶくぶくうがい指導	○ <b>幼保指導課</b> ・食後の歯みがきについては、まだ全保育所で再開できていない。 ・むし歯予防の啓蒙については、引き続き、歯みがき指導やほけんだよりでの周知を行う。
		○年齢に応じたセルフケアの方法を周知し、フッ化物応用によるむし歯の予防方法の普及啓発と推進をします。	3	○ <b>保健体育課</b> ・定期健診 ・口腔衛生指導 ・学校歯科保健推進事業 ・歯と口の健康づくり啓発事業 ・むし歯予防フッ化物洗口事業	○ <b>保健体育課</b> ・特別支援学級及び特別支援学校の口腔衛生指導における染め出しを継続して実施し、健康教育の充実を図ります。 ・集団フッ化物洗口において、モデル事業実施校(7校)の継続実施支援を行います。 また、事業の本事業化に向け、関係機関と連携し、体制構築を進めていきます。
		○保育所(園)、認定こども園、幼稚園、学校、行政等の関係機関・団体等が連携し、子どもへのむし歯予防の教育及び保護者への正しい知識を普及啓発します。	4	○ <b>健康支援課・健康課</b> ・妊産婦歯科健診 ・乳幼児歯科相談 ・乳幼児健康診査	○ <b>健康支援課</b> ・妊婦歯科健診の受診率は緩やかに増加しているが、産婦歯科健診の受診率は近年低下しているため、受診率向上への取り組みが必要です。 今年度、妊婦のための支援給付金の決定通知や後期面接アンケート送付時の封筒へ妊産婦歯科健診の案内を掲載し、周知啓発の強化を図りました。今後は4か月健診通知にも、産婦健診の案内を同封し受診を促すことで、受診率向上を図ります。
		○フッ化物応用(フッ化物配合歯磨剤、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口)等によるむし歯の予防方法の普及啓発と推進に努めます。	5	○ <b>健康推進課・健康課</b> ・2歳児むし歯予防教室、個別歯科相談(子ども・成人) ・乳幼児口腔保健指導事業 ・むし歯予防フッ化物洗口導入支援事業 ・市政出前講座	○ <b>健康推進課</b> ・フッ化物洗口実施施設の拡大 ・高齢者へのフッ化物応用を周知
		○集団フッ化物洗口について、実施する施設を増やすため、各課関係機関との連携を強化し、円滑な導入支援に努めます。	6	○ <b>千葉市歯科医師会</b> ・フッ化物歯面塗布実施歯科医院、フッ化物洗口剤取扱い歯科医院をHP上で紹介 ・ヘルシーカムカムにおいて、フッ化物歯面塗布体験を実施 ・フッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法をヘルシーカムカムチラシに掲載(保育施設、小学校等に配布)	○ <b>千葉市歯科医師会</b> ・小学校での集団フッ化物洗口の本事業化および実施校の拡大 事業の安定的な継続と実施校の拡大により、全ての児童が平等にむし歯予防の恩恵を受けられる環境を整えることが不可欠
			7	○ <b>千葉県歯科衛生士会</b> ・障がい者等通所施設にフッ化物洗口普及研修会の実施 ・本会Webサイトにフッ化物普及啓発事業のバナーを作成し、YouTubeで配信している「ふっくるんと一緒に～フッ化物を使ってむし歯予防」・「むし歯予防ブクブクうがい」と、歯みがき剤の使用に関する啓発チラシに直接アクセスできるようにした。 ・食育のつどいにて、「歯を強くするフッ化物(フッ素)でむし歯を予防しよう」のチラシを配付。	○ <b>千葉県歯科衛生士会</b> ・フッ化物応用に関するミニ講座の動画作成
			8	○ <b>千葉市幼稚園協会</b> ・R6年12月、加盟園へフッ化物洗口実施の有無についてアンケート調査を実施	○ <b>千葉商工会議所</b> ・会報誌を通じた啓発や周知に努めます。
			9	○ <b>東京歯科大学千葉歯科医療センター</b> ・診療室における口腔衛生指導の実施および、フッ化物歯面塗布の推奨、啓発。積極的な実施 ・高浜幼稚園と連携し、集団フッ化物洗口の実施(平成28年9月～)および、園児への歯科保健指導の実施 ・地域コミュニティセンターにおいて、就学前の小児及び保護者に対し、歯科保健指導の実施	
			10		
歯周病予防	歯周病予防	○職域や地域における関係機関・団体等と連携し、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けること等を啓発します。	11	○ <b>幼保支援課</b> ・学校保健安全法に基づく私立幼稚園での歯科健診	○ <b>幼保支援課</b> ・歯科検診を契機に、園児及び保護者に虫歯予防などの啓発を図る。
		○各種イベントやがん検診等の機会を活用し、歯周病予防の普及啓発を強化します。	12	○ <b>保健体育課</b> ・定期健診 ・口腔衛生指導 ・学校歯科保健推進事業 ・歯と口の健康づくり啓発事業 ・歯医者さんの喫煙防止教室	○ <b>保健体育課</b> ・歯と口の健康づくり啓発事業について、千葉市歯科医師会と千葉市教育委員会、学校が連携し、事業の改善・見直しを図りつつ、継続して取り組みます。 ・昼食後の歯みがき実施率向上のため、口腔衛生指導に伴い、学校及び生徒に対して昼食後の歯みがきを推奨していきます。
		○妊産婦歯科健診において、歯周病予防の取組みを強化します。	13	○ <b>健康支援課・健康課</b> ・妊産婦歯科健診 ・母親&父親学級における講話 ・歯周病検診	○ <b>健康支援課</b> 厚生労働省は歯周疾患検診の対に20代、30代を対象に加えることにより、生涯を通じた歯科健診(検診)の機会を確保し、歯・口腔の健康の保持・増進を図ることとした。このことより千葉市は令和6年度に30歳を検診対象者に加え実施したところ、口腔ケアの指導や治療が必要な方が9割を占めていました。 若い世代から口腔の健康を保つためには、日常的なセルフケアとともに、検診を受けることが重要であることから、引き続き、周知・啓発に努めるとともに、受診率の向上にむけた取組みを推進してまいります。
		○望ましい間食の取り方等、歯周病の予防につながる生活習慣を普及します。	14	○ <b>健康推進課・健康課</b> ・成人歯科相談 ・健康教育・講演会 ・市政出前講座 ・事業所向けセミナー	○ <b>健康推進課</b> ・就労世代の歯周病予防のため職場で職員の口腔の健康に取り組んで頂けるよう、企業・事業所への働きかけを積極的に行い、訪問事業所数の増加に努めます。
		○年齢に応じた、歯周病予防のためのケアについて普及啓発します。	15	○ <b>千葉市歯科医師会</b> ・会員診療所にて歯周病検診啓発ポスターの掲示 ・歯周病検診の案内記事をHPに掲載 ・でんたるカップにおいて、参加者に歯科啓発講習を実施	○ <b>千葉市歯科医師会</b> ・歯周病検診の受診率向上 未受診者への受診勧奨、対象年齢の拡大(20歳)も必要
			16	○ <b>千葉県歯科衛生士会</b> ・障がい者等通所施設にて施設職員及び通所者に、歯間部清掃用具の必要性の周知と実技指導の実施 ・食育のつどいにて、歯周病予防の普及・啓発	○ <b>千葉県歯科衛生士会</b> ・千葉市健康づくり大会にて歯周病予防の普及・啓発
			17	○ <b>東京歯科大学千葉歯科医療センター</b> ・妊産婦歯科健診において歯周病予防に対する指導の実施 ・重症化した歯周病、もしくは全身疾患などを有する患者は歯科衛生士や他科と連携して歯周病の進行を抑制し、病状の安定を目指して歯周治療を実施 ・メンテナンス、SPT*に移行した患者は、歯周病の再発・悪化を防止するため、かかりつけ医と連携し定期検診を実施  *SPT: 歯周病安定期治療のことで、病状安定となった歯周組織を維持するために行う定期的な治療のこと。	○ <b>東京歯科大学千葉歯科医療センター</b> ・健康増進法に基づき歯周病検診の対象者が拡大されたのを機に 若年層に対する歯周病予防の取組みを強化 ・各々のライフステージに応じた口腔ケアへの取組み
			18		○ <b>千葉商工会議所</b> ・会報誌を通じた啓発や周知に努めます。

		取組みの方向性		取組み	課題・今後取り組みたいこと
健康格差の縮小	口腔機能の維持向上・低下予防	○各種保健事業を通じてかかりつけ歯科医の促進、定期健診、歯間部清掃用具の使用のほか、口腔機能向上のための口腔体操等を普及啓発します。  ○子どもの口腔機能の発達について普及啓発をします。	19	○健康推進課・健康課 ・歯っぴー健口教室 ・健康教育、講演会 ・いきいき体操 ・個別歯科相談 ・口腔機能健診 ・市政出前講座	○健康推進課 ・若い世代へも周知して参ります。
			20	○千葉市歯科医師会 ・会員診療所にて口腔ケア事業ポスターの掲示 ・口腔機能健診の案内記事をHPに掲載	
			21	○千葉県栄養士会 ・HP上で咀嚼と健康について、噛むことの意義や咀嚼が不足することの弊害等を掲載。 ・野菜を多く取り入れたメニューを作成し、ホームページで紹介。	
			22	○千葉県歯科衛生士会 ・いい歯の日のイベント・千葉県口腔保健大会でスマイルアップちば体操・ちば☆はつきりことばエクササイズによる口腔機能低下予防の普及・啓発	○千葉県歯科衛生士会 ・千葉市健康づくり大会にて口腔機能低下予防の普及・啓発
			23	○東京歯科大学千葉歯科医療センター ・地域のかかりつけ医と連携を図ることで、嚥下障害を疑う患者を早期に発見し、嚥下精密検査を積極的に行うことで、早期の進行予防に努める ・施設職員などに清掃用具の使用方法や嚥下体操を指導することで、口腔内環境のみならず口腔および嚥下機能向上を務める	○東京歯科大学千葉歯科医療センター ・外来患者の訓練は持続性に欠ける場合が多いため、定期検査を行うことで持続的なアプローチを図る ・訪問診療ではより密な連携を図る必要があるため、多職種連携の連絡ツール（ICT）を応用することが今後の課題となる
			24	○千葉商工会議所 ・会報誌3月号にて、「お口の健康が元気の秘訣」をテーマに、歯やその周りの筋肉との関わりを含めた口腔の健康について紹介し、日々の口腔ケアの重要性とともに、歯科医院での定期健診の受診を呼びかけています。	○千葉商工会議所 ・引き続き、会報誌を通じた啓発や周知に努めます。
	その他	○かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることの重要性を普及します。  ○各種イベント等様々な機会を活用してむし歯や、歯周病予防、口腔体操等のオーラルフレイル予防について普及啓発します。	25	○健康支援課 ・口腔がん検診	○健康支援課 ・口腔がんは、早期発見、早期治療することにより90％以上方が治癒すると言われており、定期的な検診の受診が重要となりますが、受診者数は横ばいです。本市は千葉市歯科医師会と連携し口腔がん検診の啓発活動を実施していますが、受診者数の増加につながるよう、引き続き千葉市歯科医師会と連携し、周知啓発活動を検討し実施してまいります。
			26	○健康推進課・健康課 ・各種イベントにてリーフレットの配布	
			27	○口腔保健支援センター（健康推進課） ・歯・口腔の健康の重要性について普及啓発	○口腔保健支援センター（健康推進課） ・健康に無関心な方へも周知に努めます。